

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時 平成24年11月〇日（〇）
- 2 学年・組 第3学年〇組
- 3 単元名「インターネットの使い方を考えよう」
- 4 単元について

○ 教材観

パソコンや携帯電話などが広く普及している現在の情報化社会で、自分を守り、自分自身が加害者にならない知識と態度を育てるためには情報モラルの学習は欠かすことはできない。インターネットは便利な反面、自分のことを明らかにしなくとも情報のやりとりができるという匿名性を伴うため、使い方によっては相手を傷つけるなど、負の影響を及ぼすこともある。メディアの内容は正しいものと思い、疑うことをしない児童も意外に多い。

○ 児童観

本クラスの児童は、コンピュータを利用した学習が好きで、前期には「総合的な学習の時間」のファイルの表紙を作成したり、学区の絵地図を地図作成ソフトで作成したり、ゲームを通して地図記号を覚えるサイトで学習したりしている。夏休み明けにローマ字を学習したので、インターネットでいろいろ調べることができることを知らせ、カテゴリ検索やキーワード検索で「昆虫」について調べ学習をした。

家庭でインターネットを利用できる環境にある児童が35名中28名、子どもだけで自由にインターネットを利用できる児童が11名である。インターネットでは調べ学習をしたり、ゲームをしたり、コミュニケーションをとったり、買い物をしたりすることができる便利な楽しいものだと感じているようである。

○ 指導観

本時では、コンピュータによる疑似体験を授業の一部に取り入れ、Webページには誤った情報や不適切な情報があることを知らせ、Webページを利用するときに気を付けることを考えさせたい。疑似体験のコンテンツは様々あるが、無料のコンテンツであること、第3学年の児童が馴染めやすい内容であるという理由で「はむはむホームページ」を利用することにした。まずは、インターネット上で公開されている情報が適切な情報かどうかについて各自で考え、判断することが大切であると考え。全体思考で他の児童の意見を聞くことで、個人思考で気付かなかったことにも気付くことができ、インターネットを使う際には一層、注意をするようになることを考える。まとめでは、不適切な情報や危険に出合ったときは、大人に意見を求めることで回避することも伝えたい。

5 本時の目標

- インターネットで公開されている情報は正しいものばかりではないことを知り、インターネットを利用するときに気を付けることを考えることができる。

6 授業の展開

	学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点（・） 評価（☆）
課題把握	<p>1 地球温暖化についてのサイトを見て、Web ページに載っていることには、正しくない情報があることを知る。</p> <p>① 地球温暖化について知っていることを聞く。</p> <p>② 「温暖化と北極の氷」のサイトを見て、その内容について話し合う。</p> <p>③ このサイトの内容は正しくない情報であること、Web ページに載っていることには、不適切な情報があることを知る。</p> <p>④ 本時は、Web ページを見るときに気を付けることを考えていく学習であることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の温度が高くなって、南極の氷がとけていると聞いたことがある。 ・原因は二酸化炭素のせいだと聞いたよ。 ・大変だ。どうしよう。 ・そんなはずはないよ。 だったら、世界中が大変なことになっているはずだ。 ・テレビでも言ってなかったよ。 ・本当でなくて、よかった。 ・Web ページには正しいことしか載っていないのかと思っていたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあて「地球温暖化について調べよう」を貼ることで、「温暖化と北極の氷」の信憑性を高めておく。 ・めあて「インターネットの使い方を考えよう」に貼りかえる。
	<p>Web ページの情報は正しいか、おかしい情報はないか、調べてみよう。</p>		
個人思考	<p>2 「はむはむホームページ」を見ながら、気付いたこと、考えたことをメモしながら見ていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森を守ることは大事なので、よい情報ではないかな。 ・自分の住所や電話番号を教えてもいいのだろうか。 ・木を育てるだけでそんなにたくさんのお金がもらえるなんて、本当にあるのかな。 ・知らない人とオーロラを見に出かけるなんて、怖いな。もし悪い人だったら危ないかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内リンク集より、サイトを一緒に開く。 ・1 ページだけ見るよう指示する。 ・全部見なくてもよいことを知らせる。

<p>全体思考</p>	<p>3 一つ一つのページを見ながら、「あやしいページ」と思ったか、思わなかったか、どうしてそう思ったかを考えていく。</p>		<p>☆インターネットで公開されている情報は正しいものばかりではないことに気付く。(観察・ワークシート)</p> <p>次のことについておさえていく。</p> <p>「はむはむの森を守る会」…自分の情報を大切にする。</p> <p>「木を育てる協力者募集」…情報には誤ったもの、だまそうとするものがある。</p> <p>「オーロラを見に行こう」…ネットで知り合った人とは個人の判断で会わない。 等</p>
<p>まとめ</p>	<p>4 これから Web ページを見るときに、どんなことに気をつけるかを書く。</p> <p>5 パワーポイントでまとめた「Web ページを見るときに気をつけること」を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前や住所などをむやみに入力しないようにしたいと思った。 ・情報が正しいかどうか他の情報と比べて判断しようと思う。 ・おかしいな、わからないなと思ったら、家の人や先生に聞こう。 	<p>☆インターネットを利用するときに気を付けることを考えることができる。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づきを何人かに発表してもらおう。 ・不適切な情報や危険に出合ったときは、大人に意見を求めることも伝えたい。